

(別添1)

No.	33
策定年月	令和4年6月
見直し年月	令和5年6月

# 水田農業高収益化推進計画

岡山県

## 1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

本県は、北部の冷涼な中国山地から南部の温暖な平野部まで、多様な自然環境や地形に囲まれており、各地域の水田において、これらの気象条件や地理的条件を生かし、中北部では、食味評価の高い「きぬむすめ」、南部では、県独自品種である「朝日」、「アケボノ」、酒造好適米の「雄町」など特色のある米が生産（主食用米面積27,100ha）されているほか、麦（1,189ha）、大豆（1,163ha）、飼料用米（2,002ha）を中心に作付転換が行われている。

高収益作物等については、県水田収益力強化ビジョン等に基づき、産地交付金等を活用し、作付転換を支援してきたところであるが、野菜については、たまねぎ、キャベツ等の加工・業務用野菜に対するニーズが高まっていることに加え、果樹については、市場の評価の高い桃やぶどうについて、出荷量の増加を求められている。また、畜産飼料については、輸入に依存している現状にあり、畜産農家の経営は、国際情勢に大きく左右される状況にある。

そこで、県は、関係機関等と連携し、野菜や果樹等の収益性の高い品目への作付転換を進め、面積拡大による供給力強化を図るとともに、耕畜連携の取組などにより、子実用とうもろこし等の県産飼料の生産を促進することで、水田フル活用による農家の所得向上を図り、競争力の高い本県農業の実現を目指す。

※面積は、いずれも令和4年産（出典：「令和4年産の水田における作付状況について」（農林水産省））

## 2. 目標

### (1) 推進方針

県は、市町村や関係機関等と連携し、加工・業務用野菜や果樹等の収益性の高い品目への作付転換や、子実用とうもろこし等への作付けを進め、水田農業の高収益化を推進する。また、地域農業再生協議会を中心に新たな計画作成に向けた助言等を行い、更なる産地の創出を図る。

### (2) 推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	(岡山市) ・面積当たりの労働時間が短く、労働生産性が高いというメリットを生かし、耕畜連携の取り組みを進め、県産飼料の生産拡大を目指すこととしているため。	0 ha (令和3年)	5 ha (令和8年)	— kg/ 10a (令和3年)	640 kg/ 10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	1,280,000 円 (令和8年)	(令和0年)	(令和0年)
キャベツ	生食用	露地	(瀬戸内市) ・実需者から需要のある品目であり、重点品目に位置づけ、収益性の高い土地利用型野菜として、重点的な産地化を図ることとしているため。	3.3 ha (令和3年)	4 ha (令和8年)	3,258 kg/ 10a (令和3年)	3,260 kg/ 10a (令和8年)	8,435,451 円 (令和3年)	10,301,600 円 (令和8年)	(令和0年)	(令和0年)
はくさい	生食用	露地	(瀬戸内市) ・実需者から需要のある品目であり、基幹品目に位置づけ、地域の特性を活かした産地の拡大を図ることとしているため。	3.4 ha (令和3年)	4 ha (令和8年)	6,164 kg/ 10a (令和3年)	6,170 kg/ 10a (令和8年)	12,478,269 円 (令和3年)	14,808,000 円 (令和8年)	(令和0年)	(令和0年)
大豆 (黒大豆)	生食用	露地	(吉備中央町) ・実需者から需要のある品目であり、県水田農業振興方針に位置づけ、作付規模の拡大を推進することとしているため。	86.6 ha (令和2年)	90 ha (令和8年)	61.2 kg/ 10a (令和2年)	91 kg/ 10a (令和8年)	54,800,000 円 (令和2年)	84,766,500 円 (令和8年)	(令和0年)	(令和0年)
ぶどう	生食用	露地	(吉備中央町) 市場からさらなる出荷量の増加と長期安定出荷を求められており、産地のさらなる面積拡大と生産性の向上を進めるなど、供給力強化を図る必要があるため。	53.3 ha (令和3年)	54.7 ha (令和8年)	1,283 kg/ 10a (令和3年)	1,322 kg/ 10a (令和8年)	542,926,000 円 (令和3年)	604,590,000 円 (令和8年)	(令和0年)	(令和0年)
ぶどう	加工・業務用	露地	(和気町) 市場からさらなる出荷量の増加と長期安定出荷を求められており、産地のさらなる面積拡大と生産性の向上を進めるなど、供給力強化を図る必要があるため。	0.55 ha (令和4年)	2.6 ha (令和9年)	0 kg/ 10a (令和4年)	1,400 kg/ 10a (令和9年)	0 円 (令和4年)	9,500,400 円 (令和9年)	(令和0年)	(令和0年)
ぶどう	生食用	露地	(和気町) 市場からさらなる出荷量の増加と長期安定出荷を求められており、産地のさらなる面積拡大と生産性の向上を進めるなど、供給力強化を図る必要があるため。	0.17 ha (令和4年)	0.35 ha (令和9年)	0 kg/ 10a (令和4年)	589 kg/ 10a (令和9年)	0 円 (令和4年)	2,527,949 円 (令和9年)	(令和0年)	(令和0年)

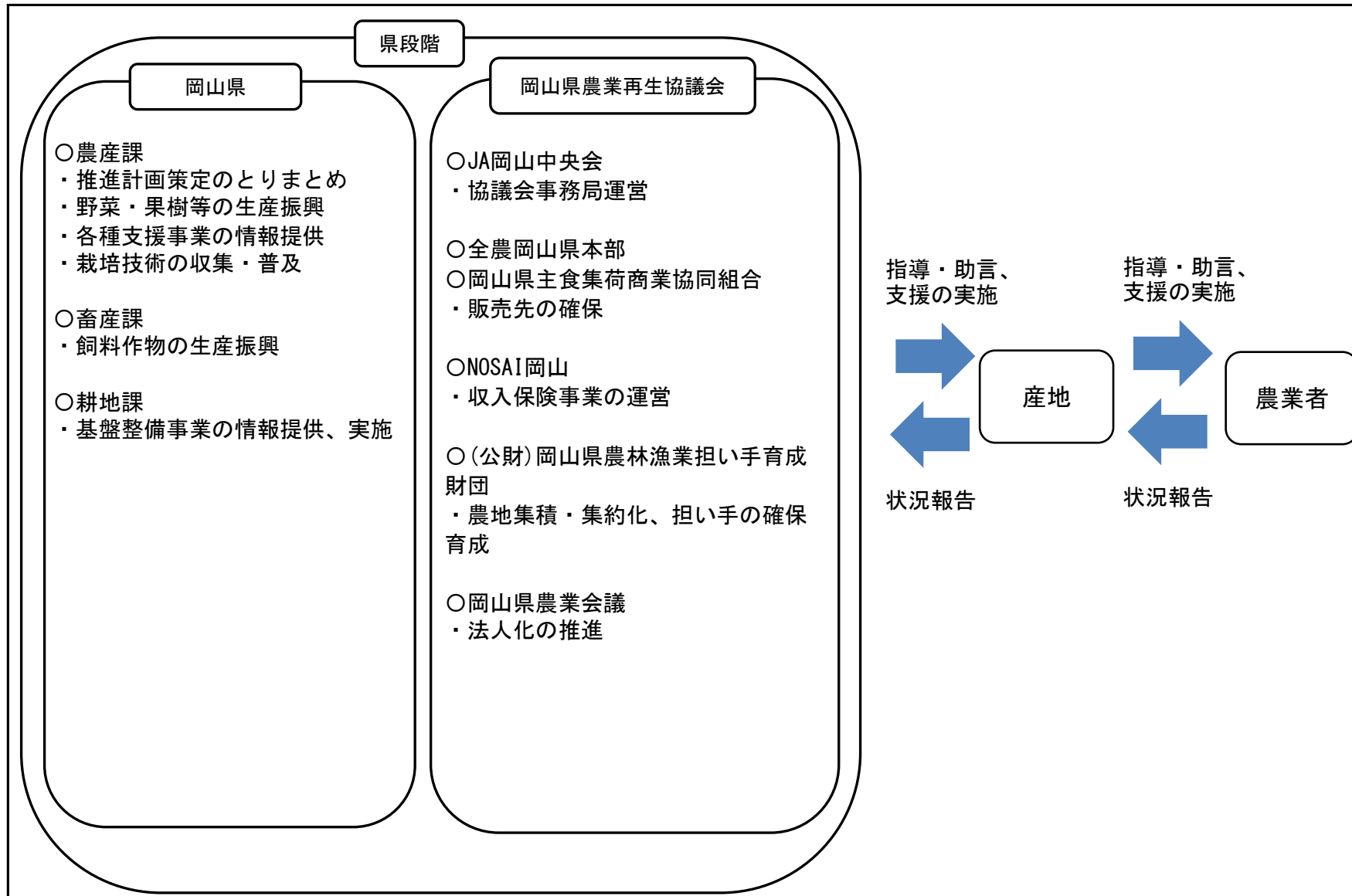
※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。

※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。(関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。)

※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料(県や地域の統計など)を添付すること。

### 3. 推進体制及び役割



## 4. 目標達成に向けた取組

### (1) 品目共通の取組

関係機関が連携し、各種補助事業の情報提供や、交付金等の活用を進めるとともに、現地での栽培技術指導等により、水田農業の高収益化に取り組む。

### (2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
子実用とうもろこし	供給を希望する畜産農家の掘り起こしにより作付面積の拡大を図る。	排水対策等の基本技術の徹底や、ツマジロクサヨトウ等の害虫対策に取り組み、収量の向上を図る。	耕畜連携の取組をすすめ、供給を希望する畜産農家を掘り起こし、販売額の向上を図る。	
キャベツ	・大規模水田作農家の労働力を活かすため、担い手を中心に作付けを推進し、作付面積の拡大を図る。 ・既存の生産者の作付面積拡大及び新規生産者の掘り起こしを行う。	JAや農業普及指導センターによる技術指導や、実需者ニーズに応じた品種選定、加工歩留まりの向上により収量の向上を図る。	産地のイメージ向上に向けたPR等に取り組むとともに、周年供給体制の確立により販売額の向上を図る。	
はくさい	・大規模水田作農家の労働力を活かすため、担い手を中心に作付けを推進し、作付面積の拡大を図る。 ・既存の生産者の作付面積拡大及び新規生産者の掘り起こしを行う。	JAや農業普及指導センターによる技術指導や、実需者ニーズに応じた品種選定、加工歩留まりの向上により収量の向上を図る。	産地のイメージ向上に向けたPR等に取り組むとともに、既存産地のブランド力を活かし、京阪神での安定出荷により、販売額の向上を図る。	
大豆 (黒大豆)	省力機械化体系の導入等による既存の生産者の作付面積の拡大に加え、中山間地域でも作付けを推進し、作付面積の拡大を図る。	排水対策等の基本技術の徹底や、かん水等の高温対策により、収量の向上を図る。	作付面積の拡大及び安定生産・品質向上の取り組みにより、販売額の向上を図る。	
ぶどう	・担い手への園地集積や新規栽培者の確保により、作付面積の拡大を図る。 ・計画的な改植や、増反をすすめ、作付面積の拡大を図る。	排水対策、土づくり対策の徹底や、近年の気候変動による着色不安定を克服するための技術指導等により、収量(出荷量)の向上を図る。	・ピオーネやシャインマスカット等について、産地の面積拡大や生産性向上等により供給力強化を図り、販売額の向上を目指す。 ・貯蔵施設を活用した長期出荷に取り組む。	

## 5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	岡山市地域農業再生協議会	岡山市	
2	瀬戸内市地域農業再生協議会	瀬戸内市	
3	吉備中央町地域農業再生協議会	吉備中央町	
4	和気町地域農業再生協議会	和気町	

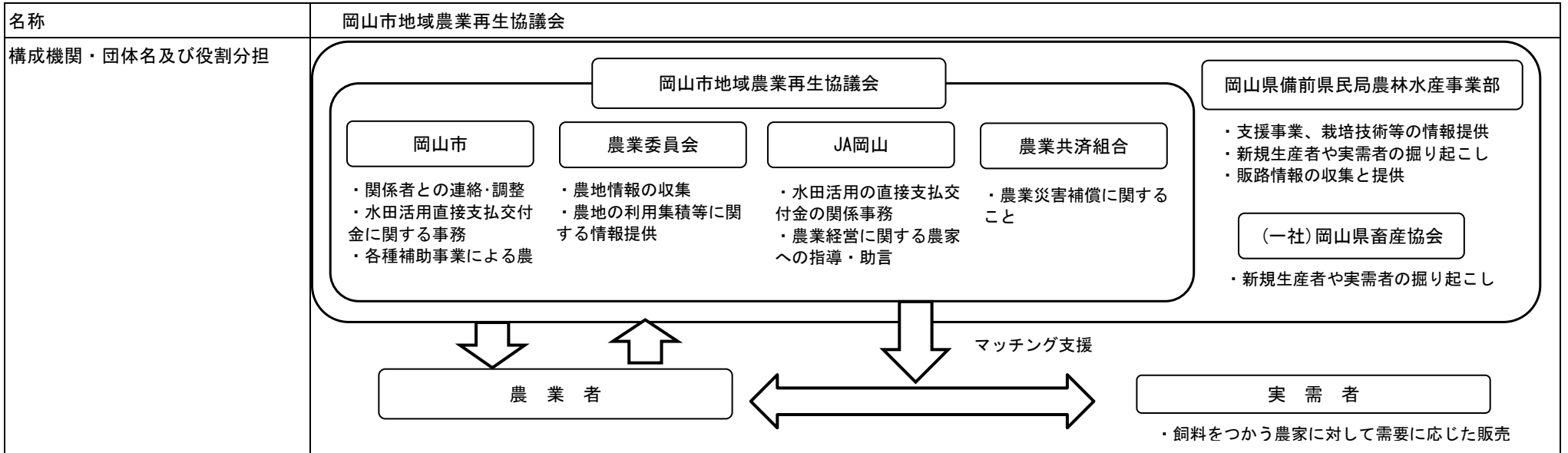
※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	33-001
策定年月	令和4年4月
見直し年月	令和 年 月

## 水田農業高収益化推進計画 岡山市地域農業再生協議会産地推進計画

### 1 計画作成主体の情報



### 2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用とうもろこし	飼料用	露地	岡山市	0 ha (令和3年)	5 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	640 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	1,280,000 円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	33-002
策定年月	令和4年3月
見直し年月	

## 水田農業高収益化推進計画 瀬戸内市産地推進計画

### 1 計画作成主体の情報

名称									
構成機関・団体名及び役割分担	<table border="1"><tr><td>瀬戸内市地域農業再生協議会</td><td>備前広域農業普及指導センター</td><td>岡山市農業協同組合</td><td>瀬戸内市農業委員会</td></tr><tr><td>・計画作成のとりまとめ ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施</td><td>・支援事業、栽培技術等の 情報提供 ・支援事業の実施</td><td>・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施</td><td>・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進</td></tr></table> <p style="text-align: center;">↓ ↑ 農家(法人)</p>	瀬戸内市地域農業再生協議会	備前広域農業普及指導センター	岡山市農業協同組合	瀬戸内市農業委員会	・計画作成のとりまとめ ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・支援事業、栽培技術等の 情報提供 ・支援事業の実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進
瀬戸内市地域農業再生協議会	備前広域農業普及指導センター	岡山市農業協同組合	瀬戸内市農業委員会						
・計画作成のとりまとめ ・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・支援事業、栽培技術等の 情報提供 ・支援事業の実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進						

### 2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
キャベツ	生食用	露地	瀬戸内市	3.3 ha (令和3年)	4.0 ha (令和8年)	3258 kg/10a (令和3年)	3260 kg/10a (令和8年)	8,435,451 円 (令和3年)	10,301,600 円 (令和8年)		
はくさい	生食用	露地	瀬戸内市	3.4 ha (令和3年)	4.0 ha (令和8年)	6164 kg/10a (令和3年)	6170 kg/10a (令和8年)	12,478,269 円 (令和3年)	14,808,000 円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。



(別添2)

No.	33-003
策定年月	令和4年5月
見直し年月	令和〇年〇月

## 水田農業高収益化推進計画 大豆・ぶどう産地推進計画

### 1 計画作成主体の情報

名称	吉備中央町地域農業再生協議会					
構成機関・団体名及び役割分担	<table border="1"><tr><td><b>吉備中央町</b> ・計画作成のとりまとめ ・支援事業の推進 ・地域の合意形成の推進</td><td><b>JA岡山 JA晴れの国岡山</b> ・推進品目の団地化促進 ・販路確保・拡大 ・営農指導等</td><td><b>吉備中央町地域 農業再生協議会</b> ・計画の作成 ・水田農業高収益化推進 助成に係る事務</td><td><b>備前広域農業普 及指導センター</b> ・推進品目の普及指導 ・安定的な生産の促進</td><td>⇔ <b>農業者</b></td></tr></table>	<b>吉備中央町</b> ・計画作成のとりまとめ ・支援事業の推進 ・地域の合意形成の推進	<b>JA岡山 JA晴れの国岡山</b> ・推進品目の団地化促進 ・販路確保・拡大 ・営農指導等	<b>吉備中央町地域 農業再生協議会</b> ・計画の作成 ・水田農業高収益化推進 助成に係る事務	<b>備前広域農業普 及指導センター</b> ・推進品目の普及指導 ・安定的な生産の促進	⇔ <b>農業者</b>
<b>吉備中央町</b> ・計画作成のとりまとめ ・支援事業の推進 ・地域の合意形成の推進	<b>JA岡山 JA晴れの国岡山</b> ・推進品目の団地化促進 ・販路確保・拡大 ・営農指導等	<b>吉備中央町地域 農業再生協議会</b> ・計画の作成 ・水田農業高収益化推進 助成に係る事務	<b>備前広域農業普 及指導センター</b> ・推進品目の普及指導 ・安定的な生産の促進	⇔ <b>農業者</b>		

### 2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
大豆 (黒大豆)	生食用	露地	晴れの国岡山農協	86.6 ha (令和2年)	90 ha (令和8年)	61.2 kg/10a (令和2年)	91 kg/10a (令和8年)	54,800,000 円 (令和2年)	84,766,500 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ぶどう	生食用	露地	晴れの国岡山農協、岡山市農協	53.3 ha (令和3年)	54.7 ha (令和8年)	1,283 kg/10a (令和3年)	1,322 kg/10a (令和8年)	542,926,000 円 (令和3年)	604,590,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。


※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	33-004
策定年月	令和5年5月
見直し年月	令和 年 月

## 水田農業高収益化推進計画 ぶどう産地推進計画

### 1 計画作成主体の情報

名称	和気町地域農業再生協議会					
構成機関・団体名及び役割分担	<table border="1"><tr><td>岡山県、備前県民局 東備農業普及指導センター</td><td>和気町地域農業再生協議会 和気町</td><td>JA 和気営農物流センター</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none"><li>支援事業、栽培技術等の 情報提供及び栽培指導</li><li>計画の作成及び取りまとめ</li><li>全体の連絡調整</li><li>畑地化促進助成に係る事務</li><li>水田活用直接支払交付金 の関係事務</li></ul>	岡山県、備前県民局 東備農業普及指導センター	和気町地域農業再生協議会 和気町	JA 和気営農物流センター		農業者
岡山県、備前県民局 東備農業普及指導センター	和気町地域農業再生協議会 和気町	JA 和気営農物流センター				

### 2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ぶどう	加工・業務用	露地	瀬戸内市邑久町 北池・長船町土 師地区 日笠下地区	0.55 ha (令和4年)	2.6 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和4年)	1,400 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和4年)	9,500,400 円 (令和9年)	(令和4年)	(令和9年)
ぶどう	生食用	露地	矢田地区	0.17 ha (令和4年)	0.35 ha (令和9年)	0 kg/10a (令和4年)	589 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和4年)	2,527,949 円 (令和9年)	(令和4年)	(令和9年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。